

5606A ロードマチック

1) 仕様

機械落径	25.60mm
機械厚ミ	4.25mm
テンプレ振動数	21,600回/時
自動巻(手巻装置付)	
カレンダー(日付、曜日、曜文字和英 切換機構、日・曜修正装置付)	
秒針規正装置	

2) 特長

便利な機能を豊富に備えており、それらが極めてコンパクトにまとめられていますから、スマートな外装デザインを得ることができます。しかもテンプレの保有エネルギーは十分に確保されていますから、優れた精度が得られます。5606Aはあらゆる面で高い水準をゆく機種です。

3) 分解・組立

分解は図の番号①→⑦の順序に分解してください。

組立は図の番号⑦→①の順序に組み立ててください。

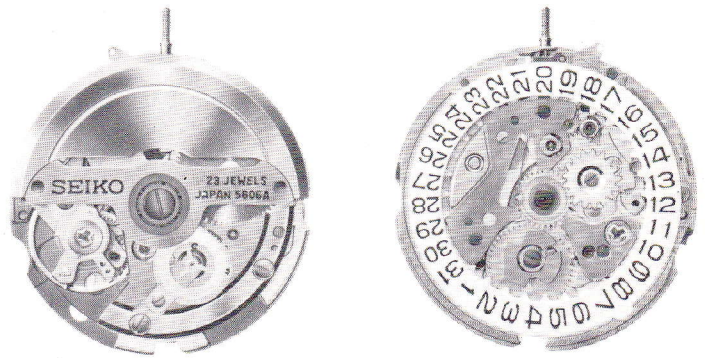
4) 注油

図の色は油の種類と注油箇所を示します。

- メービスA
- メービスグリース
- セイコーウォッチ油S-6

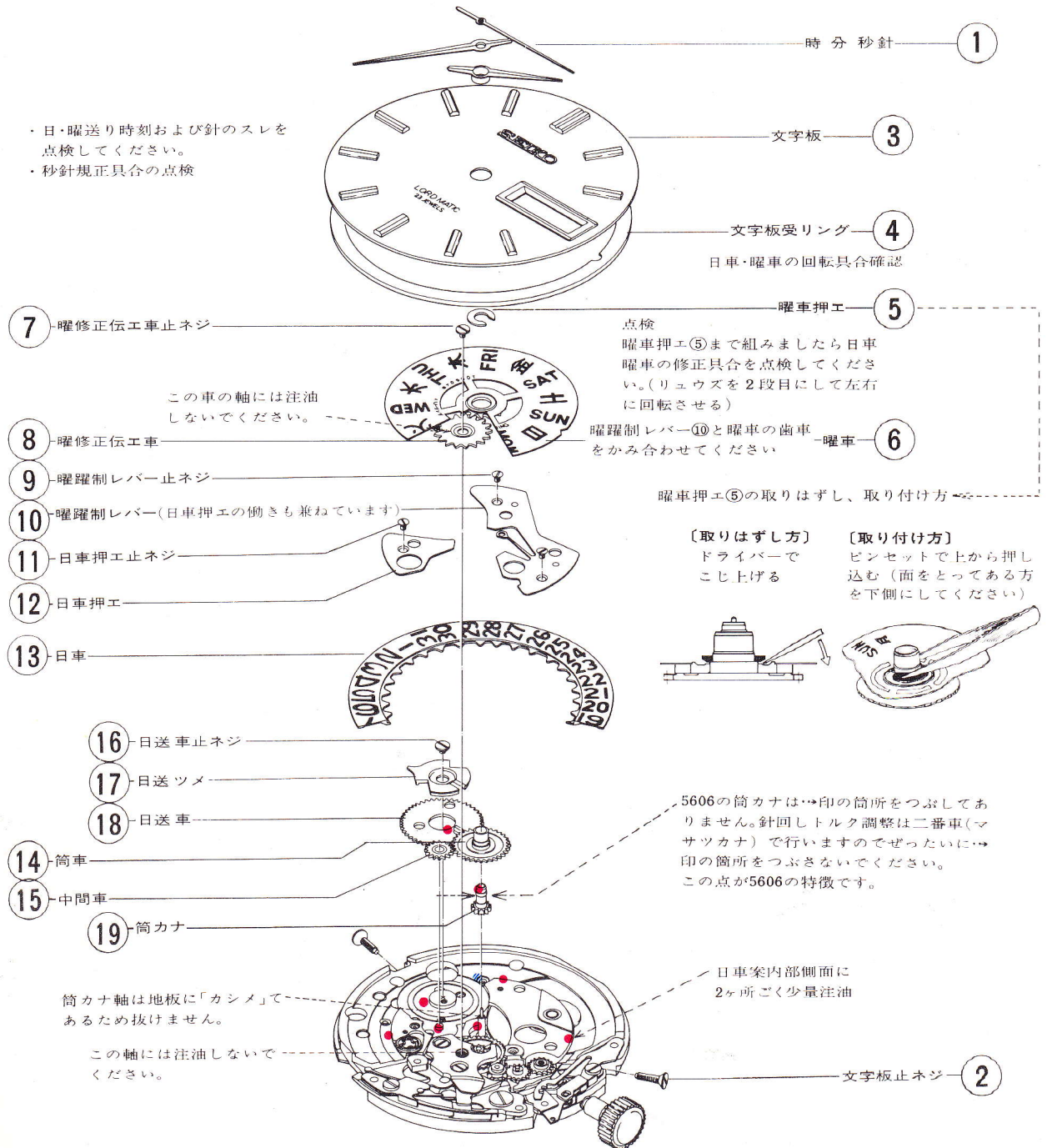
これ以外の油を使用する箇所は別に指示してありますので指示に従って確実に注油してください。

注) 指示のない箇所には、注油の必要がありません。



ムーブメント

5606A カレンダー機構

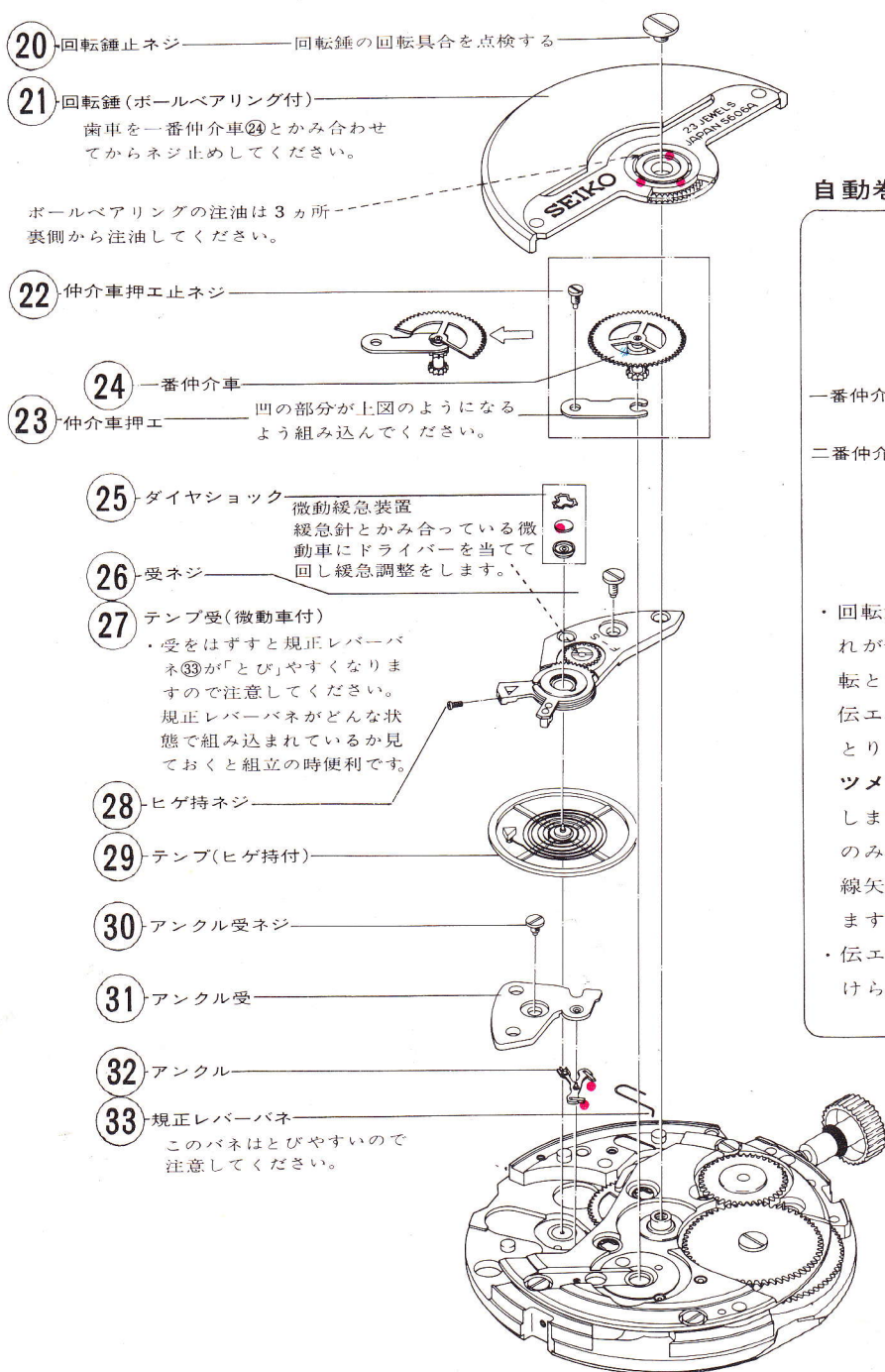


曜文字和英切換装置

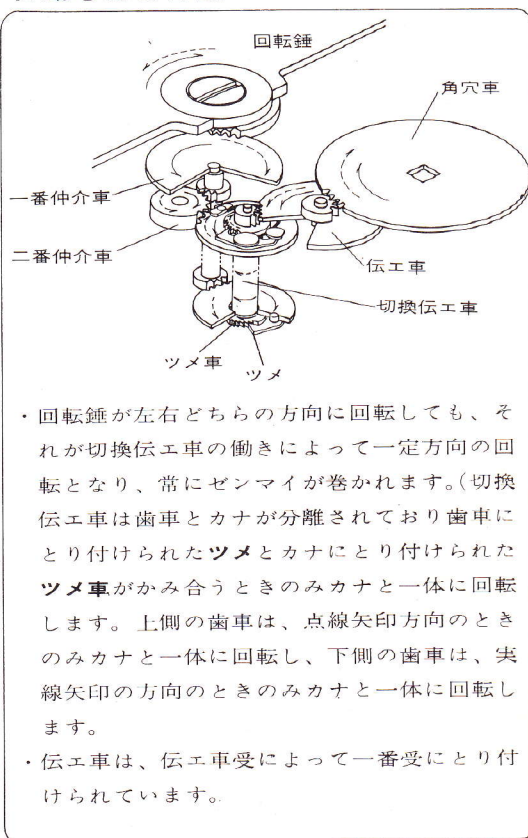
曜車に英語と日本語の曜文字が印刷されており、使用者が日・曜修正装置によって、自由にどちらか好む方の文字を出すことができます。一度セットすると、時計は1日に2文字ずつ送りますから、常に同系の文字のみが現われます。

注意 午後8時頃から午前1時頃までの間は、日・曜送り時間のため日・曜修正装置、曜文字和英切換機構は、はたらきません。

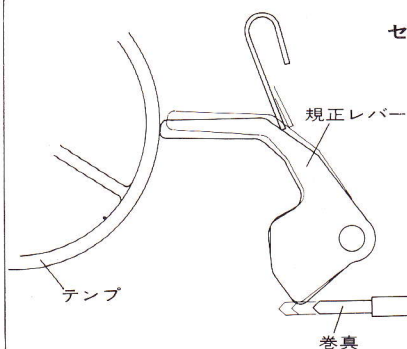
5606A 自動巻機構 脱進 调速機構



自動巻部の作動



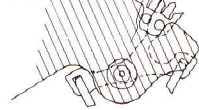
セコンドセッティング



リュウズを3段目に引き出して針回しの状態にすると規正レバーの尾部が、巻真先端からはずれ頭部がテンプを押えるので、時計が止まります。リュウズを押し込むと規正レバーがテンプから離れ時計が動き始めます。従って秒まで正確に合わせられます。

アンクル

アンクル受



クワ形部に立てたピンがアンクル受の切り欠き部に当たって、作動が規制されます。従ってドテピンはありません。

5606A 輪 列

34 角穴ネジ ———— ゼンマイを巻き輪列が正常に回転するか確認してください。
注) 但し一番仲介車(29)を組み込んだ状態では角穴ネジによるゼンマイ巻はさけてください。

35 角穴車

36 コハゼ ———— キャリバー6619Aと同じ機構ですが部品は共通に使用できません。

37 受ネジ

38 一番受 ———— 香箱を回して各ホヅが確実に入ったか確認してから受ネジを締めてください。

丸穴車は受に「カシメ」であるためはずれません。

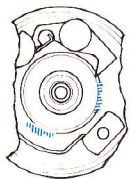
一番受を裏返した図です。

丸穴車と受の間に注油

41 伝工車

40 伝工車受

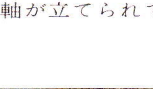
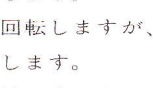
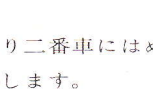
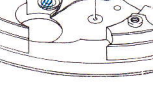
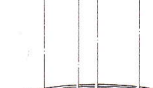
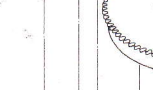
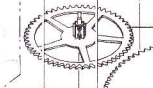
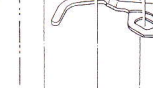
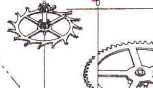
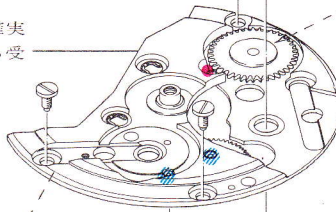
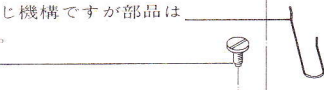
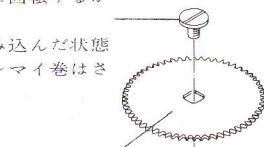
39 伝工車受ネジ



43 切換伝工車
上下のツメ車に2カ所(4~5枚)に注油してください。

42 二番仲介車

切換伝工車は上・下歯車とも、カナを上にして、歯車を右回転させた時ロックし左回転させた時軽く逃げ回れば正常です。



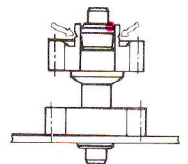
ガンギ車 45

四番車 44

二番車(マサツカナ付) 46

マサツカナ 注油は右図の箇所確実に行ってください。

右図⇨部分の摩擦により二番真とマサツカナが固定されています。これは他の機種(二番真と筒カナの関係)と同じです。



規正レバーネジ(設ネジ) 49

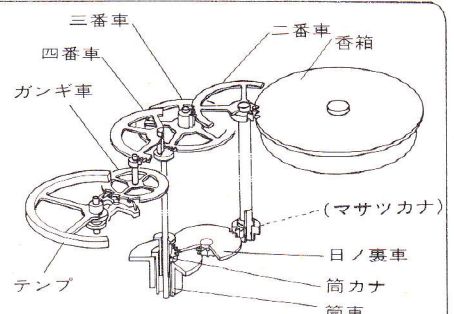
規正レバ 50

三番車 47

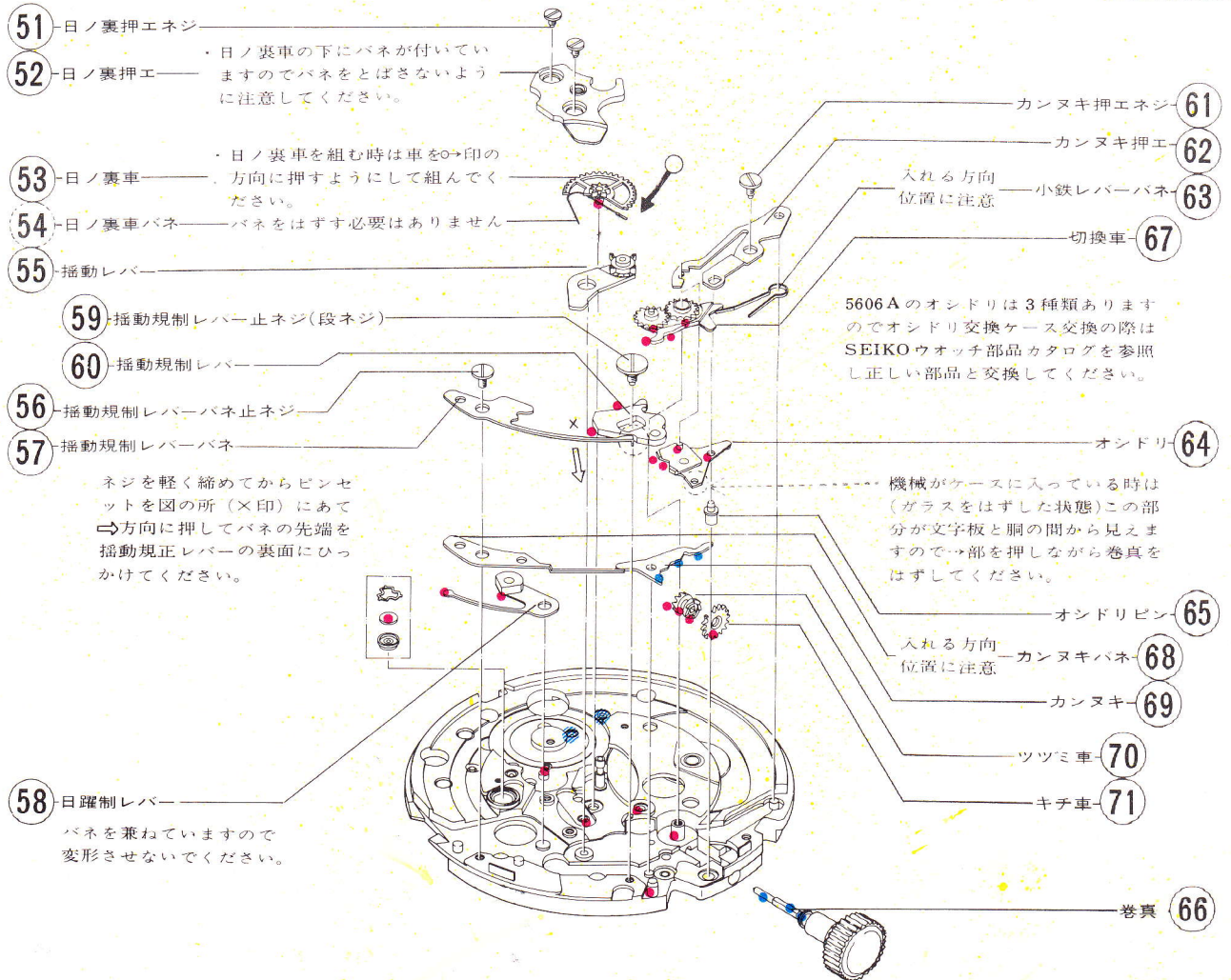
香箱車 48

輪列 (力の伝達経路)

- ・二番車を中心からはずれた位置にあり二番車にはめ込まれたマサツカナによって裏輪列と連絡します。マサツカナは通常は二番車と一体に回転しますが、リュウズによる針回しの際は、から回りします。
- ・地板中心部に筒カナを受ける筒カナ軸が立てられています。

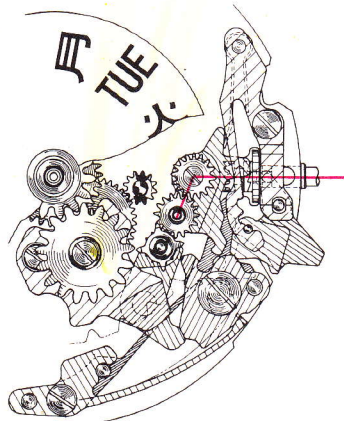


5606A 切換機構



リュウズ通常位置(ゼンマイ巻)

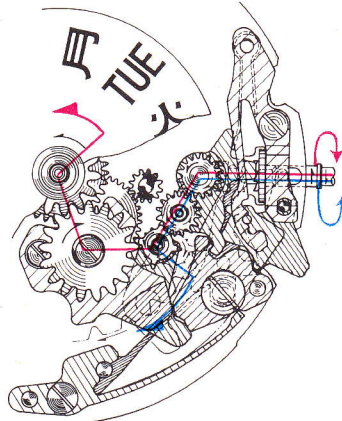
キチ車とツツミ車がかみ合っておりこの位置で、リュウズを回わすとゼンマイが巻かれます。



リュウズを二段目に引き出した位置(日付・曜日のセット)

ツツミ車と小鉄車(小鉄伝エ車の下にあり、小鉄伝エ車と一体に回転します)がかみ合い、この位置でリュウズを右回転すると曜車が、左回転すると日車が修正されます。

(修正車は、リュウズを回す方向により日車とかみ合ったり曜修正伝エ車とかみ合ったりします)



リュウズを三段目に引き出した位置(時刻のセット)

切換車がオシドリに押され修正中間車とマサツカナがかみ合い、ここでリュウズを回すと針が回ります。

